

今必要な備え マタイ 24:32-44	2025. 7. 20、丘の上 NO. 753 春日部福音自由教会 山田豊
----------------------------	--

ボーイスカウトのモットーは「備えよ常に」Be Prepared です。頭文字をとってBP とすると、創立者 Baden Powell の頭文字と同じであり、世界中で通用する言葉です。本日は丘の上会堂では自主防災訓練が行われますが、災害や人生の最後のために備えておくことは、大切なことです。

イエスがオリーブ山で座っておられると、弟子たちが来て、世が終わるときの前兆、しるしはどのようなものかと尋ねました。イエスは座られたまま話をされたと思われるので、この個所は「オリーブ山講話」「オリーブ山の説教」と言われています。この時はまだイエスは十字架にかけられておられないときだったので、私たちはこの時にいた弟子たちよりも、イエスの語られた言葉の意味をよく知ることができると思います。それだけに、「いじちくの木から教訓を学びなさい」と言われているように、しっかりと学び、イエスの道を歩む者でありたいと願わされます。

イエスの再臨に備えるポイントは、目を覚ましていること、用心していることです。イエスはそのことを、ノアの日のことを引き合いに出して語ります。ユダヤ人であればだれでも知っていることで、私たちは創世記6～9に記されているノアの物語をもう一度読み返す必要があります。家に泥棒が入るたとえばは、わかり易いですね。この世がいつ終わるのか、イエスが再びおいでになる日は、なんと子であるイエスご自身も知らないというのです。これは父なる神の領分であり、イエスのご自分の分をわきまえておられたのでしょう。まして私たちには、その日を特定することはできません。ですから、この世で起きていること、神によって造られたこの自然界の出来事を注意深く見て、終わりの日の備えをする必要があるのです。しかしそれはただじっとその日が来るのを待っている、というのではありません。続くマタイ 25 章には神の国のたとえの中で、賜物を絶やすことなくそれを生かすことを教えています。小さな弱い人たちに寄り添って必要な助けをすることは、イエスに対してしたことと同じであるとも言われています。ペテロも終わりの日の備えで大切なのは、賜物を生かして仕えあうことだと書いています。

今放送されている NHK 朝ドラの主題歌のタイトルは「賜物」です。早くて歌詞がちゃんと聞き取れないのですが、最後のほうで「君に託した神様とやらの采配」と歌っているのが面白いと感じました。

引用聖句

マタイ 16:2-3 イエスは彼らに答えられた。「夕方になると、あなたがたは『夕焼けだから晴れる』と言い、3 朝には『朝焼けでどんよりしているから、今日は荒れ模様だ』と言います。空模様を見分けることを知っていながら、時のしるしを見分けることはできないのですか。

マルコ 13:32 ただし、その日、その時がいつなのかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。父だけが知っておられます。

1 ペテロ 4:7-11 万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。8 何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。9 不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい。10 それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。11 語るのであれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕するのであれば、神が備えてくださる力によって、ふさわしく奉仕しなさい。すべてにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。この方に栄光と力が世々限りなくありますように。アーメン。

NHK 朝ドラ「あんぱん」主題歌 RADWIMPS(ラッドウィンクス)

いつか来る命の終わりへと 近づいていくはずの明日が
輝いてさえ見えるこの摩訶不思議で 愛しき魔法の鍵を
君が握ってて なぜにどうして？ 馬鹿げているとか 思ったりもするけど
君に託した 神様とやらの采配 万歳